

平成28年度第1回陸別町総合教育会議 議事録

- 1 総合教育会議開催日時 平成28年12月9日(金)
午後4時30分～午後5時21分
- 2 会 場 陸別町役場 委員会室
- 3 出席者 陸別町長 野尻秀隆
陸別町教育委員会
委 員 石橋 勉
委 員 西岡 愛則
委 員 角熊 葉子
教 育 長 野下 純一
- 4 出席説明員 陸別町教育委員会(事務局)
次 長 有田 勝彦
主 幹 瀧口 和雄
主 幹 津幡 恵一(給食センター所長)
主任主査 北村 正利(管理担当)
主任主査 遠藤 克博(社会教育・社会体育担当)
- 5 協議事項結果

協議事項(1) 「切れ目のない教育環境の充実」について
- 6 審議経過 次のとおり

| | |
|------|--|
| 有田次長 | ただいまから、平成28年度第1回陸別町総合教育会議を開催します。 はじめに、野尻町長からご挨拶申し上げます。 |
| 野尻町長 | <p>みなさんこんにちは。お忙しい中、また雪が降って足下が悪い中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>今日は、平成28年度第1回陸別町総合教育会議ということでございます。</p> <p>今年一年を振り返ってみますと、春先から天候が悪くて、そしてあのすごい台風が来て、なんか台風が来て台風で終わってしまったなという感じがしています。</p> <p>そのようななかで、最近、ちょっと前から言葉の中に、関心のある言葉があります。これは福祉の方で進んで話しがされているものですが、これは教育にも関連してくるものですからメモ書きをしました。</p> <p>子どもの貧困対策の推進に関する法律というものが、国では25年だったと思うのですができました。</p> <p>それに追隨して北海道でも、27年12月だったと思いますが、つくられました。</p> <p>目的は子どもの将来、生まれ育った環境で左右されることのないように、貧困の状態にある子どもが健やかに育成される環境を整備する、それとともに教育の機会均等を図るため、これが目的としてあります。</p> <p>また、北海道のほうでも、これは日本財団のレポートですが、子どもの貧困率、いわゆる生活の保護世帯だとか児童の養護施設に入っている子どもたち、一人親家庭の子どもたちの総数を子どもの貧困数として、全ての子どもたちの総数で割返した率、これを言っているのです。</p> <p>北海道はどうやら全国でワースト1のようであります。</p> <p>北海道の計画の中にも子どもの成長段階に応じて切れ目のない必要な施策を実施するというのがありまして、まさしく今日のこの議案の中にもある、ぴったり当てはまっているなとそんなことを感じています。</p> <p>町としても就学の援助とか学習の援助、それら施策を講じて行かなければならないとそのように考えております。</p> <p>国も今、考えているのですが、給付型の奨学金制度等々、町としてもいろいろ検討しているところです。</p> <p>以上、とりとめなくお話ししましたが、それらのことの基本にもなりますが、必要なのは益々の子どもの学力のアップ、学力向上が重要で必要になってくるのかなと私個人的には考えております。</p> <p>今日は、決定を行う議題というものはございませんが、未来を担う子どもたちを地域全体で育むためには、「切れ目のない教育環境の充実」が欠かせないと考えております。</p> <p>あまり固くならないで自由に意見交換ができればと考えておりますので忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>今日はどうかよろしく申し上げます。</p> |

| | |
|------|---|
| 有田次長 | <p>それでは議事に入りたいと思います。ここからの進行は、野尻町長にお願いします。</p> |
| 野尻町長 | <p>それでは、協議事項(1)「切れ目のない教育環境の充実」について、事務局より説明をさせていただきます。</p> |
| 有田次長 | <p>それでは、2ページをご覧ください。</p> <p>協議事項(1)「切れ目のない教育環境の充実」について はじめに</p> <p>陸別町教育大綱の基本目標「垣根のない 心が育てる豊かさを 実感しあえる町づくり」に則り、基本方針1において、「学校教育と社会教育及び保健福祉と連携を図り、陸別でしか味わえないすばらしさを体験すると共に、陸別だから学べる教育プログラムの充実など、生涯を通じ学べる環境や指導者の育成などの学習体制の充実を図る」と謳っています。</p> <p>また、この方針1に基づく重点施策として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生涯学習の推進では、「家族と地域と人の絆を深め、世代間交流の機会を創出する」 ②学校教育の充実では、「体験学習や社会活動への参加など地域特性を活かした「ふるさと教育」を進める」 ③青少年活動の促進では、「しばれフェスティバルなどまちづくりや産業おこしに関する研修・研究の機会を充実する」 ④生涯スポーツの充実では、「気軽にスポーツができる環境を整える」ことを掲げています。 <p>以上の項目に沿って、未来を担う子どもたちを地域全体で育む「切れ目のない教育環境の充実」の観点から協議を行い、教育の施策の充実を図ることとします。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。</p> <p>3と4ページに協議次第の中身がありますが、5ページにそれらを1ページにまとめたものが載っておりますのでそちらをご覧ください。</p> <p>基本方針1 豊かな未来を目指す生涯学習の推進であります。重点施策が左側にありまして、1. 2. 3. 4とありますので、こちらから順番に簡単に説明させていただきます。</p> <p>1の生涯学習の推進ですが、こちらについては、横に目標、陸別の子は陸別で育てる、計画、主な連携・協働事業の中身について記載されております。</p> <p>生涯学習の推進については、目標といたしまして、家族と地域と人の絆を深めるということでありまして、表の右横に2つ飛びまして、主な連携・協働事業であります。小・中学校における地域連携事業、高齢者とのふれあい、その下に、園児とのふれあいがあります。園児とのふれあいについては6ページに資料1として連携教育の実践記録が出ております。</p> |

こちらについては、保育所で実施しているものが載っています。

その下、幼児お母さんとのふれあいにつきましては、7ページに資料2として、保健センターで中学3年生を対象に幼児のお母さんとの交流を実施しているところがございます。

次に学校教育の充実につきましては、体験学習や社会活動への参加ということでもありますけど、表を右に2ついきまして、上から土曜授業のキャリア教育でありますけど、こちらについては、8ページに資料3として、中学1、2年生を対象に地域人材によるキャリア教育について実践記録を載せております。

次にふるさと教育でありますけど、酪農体験、これにつきましては、9ページに資料4として、平成26年度のものでありますけど、小学3年生が、酪農体験学習を農協青年部やノーザイの職員のみなさんの協力によりまして実践をしているところでもあります。

その下、馬とのふれあいにつきましては、10ページの資料5で、小学6年生が乗馬体験学習を馬産振興協議会青年部のご協力によりまして実践をしているところでもあります。

その下、イエローリボンプロジェクトであります。

こちらは、11ページの資料6でありますけど、陸別町を花と緑であふれさせるという内容の趣旨でありますけども、こちらは小学1、2年生が石橋建設さんのご協力によりまして国道沿いにひまわりの種を植えたというような事業の実践であります。

次に職場体験学習でありますけど、12ページに資料7では、毎年中学校で2学年におきまして職場体験学習を行っております。町内約8個所の事業所のご協力によりまして2日間職場体験学習を実施しているところでもあります。特にこのことによりまして自己理解や勤労観、職業観が深まり、人間関係の深まりなど、とても多くのことを学ぶ機会となっているという内容のものであります。

次に、子ども発達支援連絡会、その下、子どもカフェでありますけど、子どもカフェにつきましては13ページをご覧ください。資料8となっております。こちら、子どもカフェにつきましては、28年からの事業でありますけど、子育て支援や多世代交流などを運営コンセプトとする「ぷらっと」を有効に利用する狙いもあり、こちらについては、地域全体で子どもたちの成長を見守る機運が高まるきっかけになればということで今実施をされているところでもあります。

子どもカフェの右側でありますけど、特に、小・中連携教育推進につきましては、小中一貫教育推進事業ということで、ちょっと飛びますけど、18ページをご覧ください。18ページには資料13に、小・中連携教育推進事業ということで長く資料が載っていますので、のちほどご覧いただければと思います。

続きまして、3青少年活動の促進であります。こちらは、自主的な団体活動への支援ということでもありますけども、ふたつ右側に移りまして観光イベント等の協賛ということで、しばれフェスティバルにつきましては、青少年の活動の交流促進の実践が活動の場になっているのかなと思っております。

その下、りくべつ鉄道につきましては、14ページ、資料9に載っております。小学校3、4年生を対象といたしまして、りくべつ鉄道お祭りに、例えばリコーダーアンサンブルのみなさんが参加して、お祭りを盛り上げるという形のなかで、ふれあいを進めているという内容であります。

その下、ふれあい広場、銀河の森天文台町民コンサートを実施しているところでもあります。

それから町長との対話ということですが、こちらは、15ページに資料10ということで、実践記録を載せておりますけれども、今年の2月に中学3年生を対象に町長の講話をいただいているところです。3年生にとっては改めて自分たちが生まれ育った陸別町について考える良い機会になったのではないかと考えております。

その下、議会の傍聴でありますけれども、16ページに資料11ということで載っておりますけれども、これは、中学校が全学年議会を傍聴させていただきました。町議会のご協力によって実施をしているところでもありますけれども、地域について知り、より良い地域環境を創造する体験学習として、実際に行われている町議会を傍聴しました。様々な要求や要望が議会を通して議論されていく過程を実感でき、生徒たちにとっては今までにない体験と自分たちが暮らしている町に対する思いが深まったのではないかとこのように考えております。

その下、模擬議会でありますけれども、17ページ資料12であります。こちら全学年、模擬議会を体験したということで、事前に体験した議会傍聴をもとに、自分たちの町が、どのような手順・思いにより良くなっていくのかを実感することができたのではないかとこのように思っております。

その下、4生涯スポーツの充実でありますけれども、こちらは、いつまでも健康で活力ある生活を送るということでありますけれども、こちらにつきましては、右2つ隣になりますけれども、少年団活動は6団体の活動、体育団体活動は5団体の活動で実施をしております。また、日産自動車陸別試験場との協賛事業といたしましては、産業振興課を主として取組ながら、マラソンだとか歩くスキーも町民・町外の方々に開放して実施をしているところでもあります。

その右側でありますけれども、今年中止になってしまいましたけれども、町民スポーツレク大会は、来年度第50回ということで、実施をしているところでもありますけれども、特に自治会のコミュニケーションの促進には打って付けの事業かなと思っております。

先ほどの少年団の活動、体育団体の活動につきましても、この町民スポーツレク大会につきましても、陸別町としては段々人口減が進んでいるということで、このようなそれぞれの事業につきましても影響はしているのかなと思いますけれども、特にスポーツレクにつきましては、今後の進め方につきましても自治会を含めた関係機関と相談をしながら、見直しをしながら是非継続をして進めていきたいと感じているところでもあります。

大分、端折ってお話をさせていただきましたけれども、以後につきましては協議次第に則りまして、みなさんのご意見をいただきながら進めていただければと思っております。

| | |
|-------|--|
| 野尻町長 | <p>簡単であります、私のほうからの説明を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございます。私も今説明を聞いて、中学校の模擬議会、本議会より子どもたちのするどい質問に緊張した場面、覚えております。</p> <p>それでは、説明が終わりしましたので、これより質疑・意見をお受けしたいと思っておりますが、まず、3ページの協議次第にそって進めていきたいと思っております。</p> <p>1 生涯学習の推進について質疑・意見はありませんか。</p> |
| 野下教育長 | <p>私のほうから、一点考えていることなんですが、毎月1回、高齢者の方のふれあい昼食会が開かれています。このふれあい昼食会には、婦人会の方々とかボランティアグループの方々が、保健センターで、自分たちで調理して、その時期々々にあった豪華な食事が提供されています。</p> <p>なかなか毎月というのは大変だろうなと感じております。</p> <p>これには私も町長も招待されて、できるだけ出るようにしているのですが、今、内部でも検討しているのですが、給食を提供出来る機会があればいいかなと考えています。</p> <p>先ほど、高齢者のふれあいところで、事務局から説明ありましたが、実際に、このふれあい昼食会が中学校に移動して、中学生と一緒に給食を味わったというのが、昨年ありました。</p> <p>ぜひ、いろんな形がとれると思うので、連携していきたいと思っています。</p> |
| 野尻町長 | <p>ふれあい昼食会について話題がありましたが、関連でも他の意見がありましたらお願いします。</p> <p>特に、ありませんか。</p> <p>なければ、次に、学校教育の充実について、これについてのご意見はいかがでしょうか。</p> <p>石橋委員。</p> |
| 石橋委員 | <p>陸別は、小・中連携を進めているのですが、それにプラスして、保育所が近いですから、保育所も仲間に入れるというか、障害のない範囲で、小学校と連携のとれるようなことは行ってはどうかなと。それによって学力のアップを図ってはどうかなと。それでひとつ例ですが、息子の子どもがいた石垣の学校の話ですが、そこは石垣市立の小・中学校です。新川小・中学校というところですが、ここに入るのには、入る1年前に、保育所や幼稚園のその最終の、最後の年には、その学校の保育所、幼稚園かな、1年間だけそこに入らないとその学校に入学できないことになっている。違う保育所の子はその学校に入れない決まりになっている。同じ学区であっても入れない。</p> <p>小学校の敷地のなかに保育所があって、その小学校に入るためには、その保育所の最終の1年間だけは、その保育所に入らなければ、その学校に入れない決まりがある。</p> <p>その1年間から、小学校のグラウンドと一緒に使う。体育館と一緒に使う。行き来をかなりしてやっているんです。そういうことを考えたら、相当良い</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>面が多いのではないかと思います。</p> <p>陸別はこんないい条件であるし、前回、横浜の霧が丘学園を視察したところも似たようなところで、小・中学校が幅4m程度の市道を挟んで隣接していたが、義務教育学校になったから、市道を学校の敷地にして自由自在にして、車も通さないし、ああいう条件でなかったらなかなかできない。</p> <p>陸別あたりは、目の前の横にあるので、支障の無い限り、保育園児と小学校と行き来をもう少し出入りしてやれば、ちょっと学力アップにつながるのかなと思います。</p> <p>石垣は、学校の敷地内に保育所をおいてやっています。</p> |
| 野尻町長 | <p>他の地区の学校でも？</p> |
| 石橋委員 | <p>他の地区の学校でも同じです。</p> <p>最後の1年間から、体育館も同じ。グラウンドも一緒に使って。休み時間も自由にやっていました。珍しいのかなと思いましたが、いいのかなと思いましたが、検討課題にしてください。</p> |
| 野尻町長 | <p>はい、わかりました。</p> <p>今、小中連携に関して、石橋委員から、石垣島の例も出していただきまして、保育所も仲間に入れたら良いのではないかと。</p> <p>確かに、同年は仲間意識も強まるでしょうし、先輩後輩といった絆も深まるのではないかと。とてもいい話だと聞かさせていただきました。</p> <p>ほかにありませんか。</p> <p>西岡委員。</p> |
| 西岡委員 | <p>関連ですが、横浜の霧が丘学園での研修に行かしてもらいました。</p> <p>かなり勉強になりましたし、向こうの話しを聞きまして、陸別町もかなり小中連携が進んでいるんだなという実感もしてきたわけですけど、今、石橋委員からも出ましたが、保育所の関係ですよね。</p> <p>そういうことも考えて作っていると思うんですが、小学校と保育所の垣根の無い、芝生続きのああいう環境が出来上がっていますので、交流すると思えばいつからでも出来ると思います。</p> <p>ここにも写真が出ていますが、中学生が行ったりすることもあるようですが、視察先の校長先生の話聞いて印象に残ったのは、大きな子が小さな子と遊びとか、勉強とか一緒に交流するときに、ライバル関係ではないので、同級生とか一つ違いの下級生が相手ならライバルとしての位置付けをしているのでしょけど、何年か下の子どもと出会う場合は、ライバル関係がなくて、その子の優しさが生まれて来るということを書いていたんですよ。そのことが強く印象に残っていて、そういうことを人として優しさを育むために大きい子と小さな子の交流が大切だと思いました。</p> |
| 石橋委員 | <p>それには条件がある。学校と学校が近くなければ、なかなか行きたくても行きようがない。バスで移動して交流を図ろうとしてもなかなか深まらない。</p> |

| | |
|----------------|---|
| | <p>条件としては、向こうの校長先生も言っていたけど、小学校と中学校が100mや150mの距離で、真ん中に保育所があるそんない条件のところだったらという感じてしたね。</p> <p>やはり、西岡委員が言われた、上の子が下の子を見るなど、小さい時からそういうふうにやれば、大きくなってにも優しいし、子どももいいなと思うから、一貫としてはいいのでは。</p> |
| 野尻町長 | <p>兄弟の上下関係とは違う。だから、年上の子が小さい子を見て、下の子が良いばかりではなくて、上の子も小さい子と接することによって、いろんな感情が湧いて、目指したとか。もっともだと思います。</p> |
| 野下教育長 | <p>関連で、そうなった場合の大事なことで、教員の立場ですが、中学生が小学校に行った場合、先生が、「あなたが来てくれたからとか。あなたの言ってくれた言葉がこの子に良い影響があった」と必ず褒めてあげることが、その時大事なことだと言っていました。</p> <p>上の子がその言葉をもらって、自分にはいいところがあるんだと、そして自信につながっていくということ、先生たちもそういう意識を持っていなければならぬということです。</p> |
| 野尻町長 | <p>先生達にもいろんな意味で刺激があるのかもしれないね。</p> <p>今、クリスが教えているのは、保育所も含めていますか。</p> |
| 北村管理担当主任 主査 | <p>はい、行っています。</p> |
| 野尻町長 | <p>その辺りも出来ているので、こういったことを実現することは、そんなに難しい話ではないのかなという感じがしています。</p> <p>他に。</p> |
| 角熊委員 | <p>冒頭で町長が挨拶で言われていた、子どもの貧困という部分では、支障があるのかもしれないのですが、陸別町の子どもの貧困率というのが、出せるものであれば、知りたいのですが。</p> <p>それによって、数字如何によっては、学習に対する支援にもっと力を入れなければならないのではないかと考えています。</p> <p>可能ですか。</p> |
| 野尻町長 | <p>陸別町の人口からいったら、そんなに数はないと思いますし、それは低いと思いますけど、今、なかなか難しい壁があるというのは、個人情報とかの絡みもありますが、そういうものを対象にいいものを求めていくのであれば、そういうものも必要だと思いますので、出来る出来ないは別にして、私もまだ把握していませんので、調べさせて出せることができるなら、また、ここで発表したいと思います。</p> |

| | |
|------|--|
| 野尻町長 | <p>2の学校教育の充実についてはいいですか。 それでは、3の青少年活動の促進に移ります。これについてご意見ありますか。</p> |
| 石橋委員 | <p>特にありません。</p> |
| 野尻町長 | <p>しばれフェスティバルに関して言えば、石橋委員も私も、最初からいて、そろそろ実行委員も三代目ぐらいになってくるといことで、歴史の古さを感じているのですが、こういうところでいろいろなことを経験してもらったり、非常に大事なことだと思っています。</p> |
| 石橋委員 | <p>素晴らしいのは、実行委員会もみんなで盛り上げ、嫌でやっているわけではない、それなりに楽しんでいる。プラス先生方も子どもたちをうまくあれして、子どもたちも楽しくやっている。すばらしいことだと思う。あの寒い中を、これは、昔は無かったことだ。</p> |
| 野尻町長 | <p>これも歴史が成せる技だと思う。今では、町の職員も頭下がるくらい一生懸命やっただいている。全町総出という感じで、有り難いことです。 昔は、寒さはあまり言いたくない社会でしたが、今では寒さが他の町に負けたら悔しがらるほど、寒さが根付いてきた感じがしています。 他に、この件についてよろしいですか。 それでは、次に4生涯スポーツの充実についてなにかご意見ございますか。</p> |
| 石橋委員 | <p>スポーツレクに関してですが、実は私も自治会長2回目やっているのですが、数年前から、総会で話題としてでます。出ることに賛成する人はゼロに近い。だけど止めるわけにいかないから付き合いましょうというような結論です。 私から止めようとは言えない。他の人も絶対止めようとは言わないけど、今までと同じような形だったら、ちょっとなという人は、多くの方は言う。今の意見です。それで50回目だから、50回目はいいけれど、51回目で新たなスタートを切るときには、1年間の間でゆっくり考えて、もう少し内容を大幅に変えてやってはどうか。やって欲しいなという気持ちがあります。 自治会連合会の総会では出てこないけど、他の自治会の方に聞いても大半の自治会の総会では、かなりの数のスポーツ・レクに関しての、今のままのような感じだったら、ちょっとなという意見は聞きます。</p> |
| 西岡委員 | <p>私も、農家の方で、上陸のほうなんですけど、やっぱり、今は農協として出ていますけど、農家の方は人もいなくなっているし、年々減ってきて、出るの止めようとなってきて、何年か前になくなった。その後に農業関係全体で出ようかとなって、今、農協関係で出ているけど、各自治会は、大変なことは大変なんです。</p> |

| | |
|-------|--|
| 野尻町長 | <p>確かに、スポーツレクrek、私も自治会で一時関わっていたとき、止めないかという雰囲気の時があったと思いますが、そのときのことを振り返ってみると、かなり体力を使う昔のとおりの競技だったから、自分等も走ってひどい目に遭うんならもういいなという感じがあったけど、それを乗り越えて、簡単で意外なところでも勝てるような雰囲気に今なってきているから、まだこれだけ続いている町村はないと思う。</p> <p>だから、なんでそんなに出来るのと他の町村から羨ましがられているのを考えると簡単に止めるわけにはいかないという気持ちもありますし、まさかという勝てるようなゲーム内容もあります。それでもなかなか参加しづらいということもあるようです。</p> <p>石橋委員のおっしゃるように、もう少し考えて知恵を出していく必要があるのではないかというような気がしていますが。</p> |
| 野下教育長 | <p>私の自治会が先に参加しないということを決めたんですが、当時の総会に私も出て、若い人達が出たいという意識があったので、出たい人で同好会などでできた場合、認めていただけますかとお願ひしました。了解をいただいて現在継続しております。</p> <p>町内会の考えも実態もわかります。</p> <p>今、教育長という職に就いて感じたことは、止めたときの、このつながっている力というものは、うまく説明できないのですが、直感的に肌で感じたものがあります。</p> <p>ただ、これを無理繰り今のままで継続していくということは、町内会も抵抗あると思います。もう一度復活というかもう一度出てきてもらうようにするためには工夫、同じもので提案しても無理と思われるので、こちらから聞く態度とか、改善していくという姿勢で臨んでいく必要があるのかなと今、意見を聞いて思いましたので、大胆な発想を持って見直しをしていくくらい必要なのかなと今思いました。</p> |
| 石橋委員 | <p>それで良いのでないか。やっている間は楽しんでいる。終わったら交流会も盛り上がっている。前の準備と終わってからの大変さがある。それと種目の内容だね。3分の1くらいでも改善するような形だったらいいと思う。</p> <p>種目によってはやっている本人は辛い思いして大変でも、見ている方は何にも感じないという種目もあるし、お互い、やっている人も楽しい、見ている人も楽しいという競技もあるし、だから、やっている人も楽しい、見ている人も楽しいというような競技を模索してください。</p> <p>そしたら、良い大会になると思うよ。</p> |
| 野尻町長 | <p>この辺について、事務局からの意見を求めます。</p> |
| 有田次長 | <p>役場に入って30年の半分は、社会体育に関わっているので、昔からのだいたいの流れは自分の中では理解しているつもりです。</p> <p>当時は、朝一に、100m 競争があり、中で約3km のトータルマラソンをやって、最後にリレーもありとか、競技性の高い種目があり、止めたらいい</p> |

| | |
|------|--|
| 石橋委員 | <p>いのではないかという時期もありました。</p> <p>当時は、農村部も東西南北でチームがあったのですが、それが、ひとつひとつ無くなっていったという経過の状況の中で、見直しをしようということで、100mをなくすとか、マラソンをなくすとか、最近でいうとリレーもなくしていくというところですよ。ようするに競技性の高いものはなくしていくのですが、ただ、競技性の高いものは見ていて面白い。やる人はもの凄く大変でも。リレーは見ていて面白いのかなということで、来年50回の記念大会で、今、スポーツ推進委員会議の中で出ているのは、リレーについては復活種目として50回限定で、人数とか男女の割合を緩くして12チーム参加しやすいようにしてはどうかという考え方でもっていかうかと思っています。</p> <p>それから、子どもたちからお年寄りまで出てもらいたいというものがあるものですから、見ていてちょっとつまらないかなというものも、参加されて来る方が限定されてくると走らないでやらなければならないものもあるものですから、今の形になって来ているのですけれど、それは、大胆なという話もありましたけれど、大きく見直して、昔は午後3時くらいまでやっていたものを、半日のお昼ぐらいいに終わらせて、後はお昼を兼ねた懇親会という形に持ってきたということもありますので、これをもう少し短く終わったほうがいいのか、参加の仕方もどうしたらいいのかというところは、我々としてはまだ大きく検討しようとする段階ではないのですが、そういうことも、もしご意見があれば、検討すべきことかなと思います。</p> |
| 野尻町長 | <p>時間的には、今の時間でちょうどいいのではないかと。</p> <p>リレーの関係は、最近すごく若い人が多くなってきているので、結構早い人がいるので復活させるのはいいと思う。</p> |
| 有田次長 | <p>その辺、工夫してお願いします。</p> <p>50回という話があったが、大会について特別なことは何か考えているのか。</p> |
| 西岡委員 | <p>50記念として予算要望的にも、例えば参加経費とか賞品の増額とか、50回も来年あるのですが、その後、平成30年には開町100年というものもあるものですから、そこまでは、連続になるのですが、記念的な扱いの取り組みは要望していきたいと思っています。</p> |
| 石橋委員 | <p>北海道で他の町でやっているところはあるのか。あまり聞かないけど。</p> |
| 有田次長 | <p>隔年か数年間隔でやっていた町はあったようだけど、今はやっていない町が多いのではないかと。</p> <p>毎年開催しているほうが大変だけど、段取りは楽だと思います。</p> |

| | |
|-------|--|
| 野尻町長 | <p>スポーツレクで盛り上がりましたが、他にありませんか。 それでは、全体を通してありませんか。</p> |
| 野下教育長 | <p>1点確認をしたいのですが、町長と陸別中学校3年生との対話について実施ということによろしいですか、</p> |
| 野尻町長 | <p>私にとってもいい経験をさせてもらいましたので、ぜひやらせていただきたい。 あとありませんか。</p> <p>(「なし」)</p> <p>それでは、今日、出された意見については、それぞれ協議したとおりそれぞれの責任の分野において取り組んでいただきたいと思います。 その他について、事務局の方からはありませんか。</p> <p>(「なし」)</p> <p>よろしいですか。それでは、これをもちまして、平成28年度第1回陸別町総合教育会議を閉会します。 なお、この総合教育会議は、基本的に不定期の開催となっております。それぞれ案件があるときに必要に応じて開催させていただくことにさせていただきますのでよろしくお願いします。</p> |

(終了時間 午後5時21分)